

?s pn=jp 1261039

S1 1 PN=JP 1261039

t-s1/5

29/219.747

1/5/1

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2005 JPO & JAPIO. All rts. reserv.

02963439 **Image available**
GROUP ADDRESS MANAGEMENT SYSTEM

PUB. NO.: 01-261039 [*JP 1261039* A]
PUBLISHED: October 18, 1989 (19891018)
INVENTOR(s): MATSUMOTO MASAHIRO
APPLICANT(s): MITSUBISHI ELECTRIC CORP [000601] (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)
APPL. NO.: 63-089385 [JP 8889385]
FILED: April 12, 1988 (19880412)
INTL CLASS: [4] H04L-011/00
JAPIO CLASS: 44.3 (COMMUNICATION -- Telegraphy)
JOURNAL: Section: E, Section No. 873, Vol. 14, No. 18, Pg. 103,
January 16, 1990 (19900116)

ABSTRACT

PURPOSE: To use a limited number of group addresses and to effectively and flexibly attain multi-cast communication by assigning and releasing the group addresses to/from a terminal equipment group corresponding to a network management device.

CONSTITUTION: A center terminal equipment 2a or 2b gives a request of assignment of a group address to a network management device 4 when the necessity of broadcasting the same content to plural loudspeaker terminal equipments along loudspeaker terminal equipments 3a-3d takes place. The network management device 4 receiving the request assigns the group address not assigned yet to the loudspeaker terminal equipment group. Thus, a logical communication path is set with the loudspeaker terminal equipment group to attain broadcast. When the broadcast is finished, the release of assigned group address is requested from the center terminal equipment 2a or 2b to the network management device 4 and the group address set to the loudspeaker terminal equipment group is invalidated and released. Thus, the group address is assigned to desired terminal equipments 3a-3d as necessary, only in response to the request from the center terminal equipments 2a, 2b.

?

JPA 1-261039

09/219.747

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

平1-261039

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成1年(1989)10月18日

H 04 L 11/00

3 2 0

7928-5K

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

⑮ 発明の名称 グループアドレス管理方式

⑯ 特 願 昭63-89385

⑰ 出 願 昭63(1988)4月12日

⑱ 発 明 者 松 本 正 弘 神奈川県鎌倉市上町屋325番地 三菱電機株式会社コンピュータ製作所内

⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 大岩 増雄 外2名

明 細 書

1 発明の名称

グループアドレス管理方式

2 特許請求の範囲

端末毎に固有のアドレスが割当てられるネットワークシステムで、複数の端末を一括して指定するために対応する端末群に共通のアドレスを割当てるグループアドレス管理方式において、グループアドレスの割当てを管理するネットワーク管理装置を有し、任意の端末からのグループアドレスの割当て要求およびその解除要求に応じて、上記ネットワーク管理装置が対応する端末群に対してグループアドレスの割当ておよびその解除を行なうようにしたことを特徴とするグループアドレス管理方式。

3 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、主としてローカルエリアネットワーク(LAN)システムにおいて、マルチキャスト通信、すなわち複数の端末を一括して指定し

て同報通信を行なう目的で対応する端末群に共通のアドレスを割当てるグループアドレス管理方式に関するものである。

〔従来の技術〕

従来、グループアドレスの割当てはシステム構成時に決定され、各端末において固定的、あるいは半固定的に設定されていた。

第2図はこの従来方式の一例を示すシステム構成図である。図において、1は伝送路、2はセンタ端末で、構内やビル内のセクション毎に設置された各拡声端末3a~3cに対して音声や音楽等の放送を提供するものである。図に示すように、各端末2、3a~3cにはシステム構成時に各端末毎に固有アドレスが設定されるとともに、各拡声端末3a~3cには任意の端末群に共通のグループアドレス、この場合グループアドレスIとして拡声端末3a、3bに割当てられる#11からグループアドレスIVとして全拡声端末3a~3cに割当てられる#14までが前記固有アドレス同様システム構成時に各拡声端末3a~3cに設

定される。

以上の構成において、各拡声端末3a～3cを個々に指定して放送を行なう場合は、放送に先立ってセンタ端末2から固有アドレスによって所望の拡声端末との間に論理的な通信路を設定する。これにより、所望の拡声端末に対して放送信号を伝達することができる。また、同様に例えばグループアドレスIを用いて通信路を設定すると、拡声端末3aおよび3bに対して同時に同一内容の放送を行なうことができる。

〔発明が解決しようとする課題〕

このように、従来の方式では、システム構成時に各端末群に対してグループアドレスを割当て、このグループアドレスを各端末に設定しておく必要があった。従って、構内やビル内において端末が固定化されており、セクションの移動が生じた場合には各端末に対するグループアドレスの割当てを変更しなけりばならなかった。また、端末が多数ある場合にはその組合せが幾何級数的に多くなるのでグループアドレスを非常に多く消費する

傾向があり、アドレス長の増加と各端末におけるグループアドレス設定機構の複雑化を招いていた。

この発明は上記のような問題点を解消するためになされたもので、限られた数のグループアドレスを用いて有効かつ柔軟にマルチキャスト通信を実現できるグループアドレス管理方式を得ることを目的とする。

〔課題を解決するための手段〕

この発明に係るグループアドレス管理方式は、グループアドレスの割当てを管理するネットワーク管理装置を有し、任意の端末からのグループアドレスの割当て要求およびその解除要求に応じて、上記ネットワーク管理装置が対応する端末群に対してグループアドレスの割当ておよびその解除を行なうようにしたものである。

〔作用〕

この発明においては、グループアドレスをシステムの共有資源としてネットワーク管理装置が管理し、或る端末が他の複数の端末に同一内容を伝

達する必要が生じたとき、当該端末はネットワーク管理装置に該当該端末群に対するグループアドレスの割当てを要求し、この要求に応じてネットワーク管理装置は対応する端末群に未割当てのグループアドレスを割当てる。要求を行なった端末は割当てられたグループアドレスを用いてマルチキャスト通信を行ない、通信完了後、グループアドレス割当ての解除を要求することにより、ネットワーク管理装置は当該グループアドレスの割当てを無効化する。

以上のようにグループアドレスを管理することにより、端末の組合せを全てカバーするだけのグループアドレスを準備する必要がなく、同時に有効としなければならない限られた数のグループアドレスを準備しておけば十分であり、アドレス数の削減、すなわちアドレスビット数の削減が可能となる。また、従来の如く予め固定的、あるいは半固定的にグループアドレスを割当てておくのに比べ、グループの形成を柔軟に行なうことができるので、セクションの移動に対しても各端末の設

定を変更する必要がなくなる。

〔実施例〕

以下、この発明の一実施例を図について説明する。実施例のシステム構成図を第1図に示す。図において、1は伝送路、2a、2bはセンタ端末、3a～3dは拡声端末、4はグループアドレスの割当てを管理するネットワーク管理装置であり、当該ネットワーク管理装置4は、センタ端末2a又は2bからのグループアドレスの割当て要求に応じて未割当てのグループアドレスを割当てて当該グループアドレスに対応する各拡声端末に設定するとともに、そのグループアドレスを要求元のセンタ端末に通知する。また、上記により割当てられたグループアドレスの解除の要求がセンタ端末2a又は2bからあったときには該当該拡声端末群に設定されているグループアドレスを無効とし、そのグループアドレスを解放する。また、グループアドレスの割当てを要求された拡声端末群の中に既にグループアドレスが割当てられた拡声端末群と重複する拡声端末がある場合はその要

求を受け付けず、重複しない場合のみ受け付ける。

次に動作について説明する。まず、センタ端末2 a又は2 bは拡声端末3 a～3 dの中の複数の拡声端末に同一内容を放送する必要が生じたときには、該当拡声端末群に対するグループアドレスの割当てをネットワーク管理装置4に要求する。これを受けたネットワーク管理装置4は未割当てのグループアドレスを該当拡声端末群に割当ててそのグループアドレスを個々の拡声端末に設定するとともに、要求元のセンタ端末2 a又は2 bに該グループアドレスを通知する。これにより、従来同様グループアドレスを用いて該当拡声端末群との間に論理的な通信路を設定しそれらに対して放送を行なうことができる。放送が完了すると、当該センタ端末2 a又は2 bからネットワーク管理装置4に対してグループアドレスの割当て解除を要求することにより、上記割当てによって該当拡声端末群に設定されていたグループアドレスが無効化され解放される。以上により、グループア

ドレスを端末に固定的、あるいは半固定的に割当てることなく、センタ端末からの要求に応じて必要なときだけ所望の拡声端末にグループアドレスを割当てることができる。

また、例えば、一方のセンタ端末2 aが拡声端末3 a、3 b、3 cに或るグループアドレスにより放送中の場合、他方のセンタ端末2 bが拡声端末3 b、3 cに対して放送するためにネットワーク管理装置4にグループアドレスの割当て要求を行なっても、拡声端末3 b、3 cが既に使用中であるためネットワーク管理装置4はこの要求を受け付けない。

一方、センタ端末2 aが或るグループアドレスにより拡声端末3 a、3 bに放送中にセンタ端末2 bが拡声端末3 c、3 dに対して放送するためにグループアドレスの割当て要求をした場合、ネットワーク管理装置4は未割当てのグループアドレスがあればこれを受け付けることができ、センタ端末2 bは割当てられたグループアドレスにより拡声端末3 c、3 dに放送できる。これによ

り、二重放送の禁止などが一元管理できる。

ネットワーク管理装置4は以上の如くグループアドレスの割当て管理を行なうが、この場合、放送用のチャネルやグループアドレス割当て制御のための通信チャネルは、周波数分割あるいは時分割多重化によりチャネル間の干渉なく伝送路1に共存することは言うまでもない。

【発明の効果】

以上のように、この発明によれば、グループアドレスの割当てを管理するネットワーク管理装置を有し、任意の端末からのグループアドレスの割当て要求およびその解除要求に応じて、上記ネットワーク管理装置が対応する端末群に対してグループアドレスの割当ておよびその解除を行なうようにしたので、グループアドレスを端末に固定的、あるいは半固定的に割当てることなく、任意の端末からの要求に応じて必要なときだけ所望の端末にグループアドレスを割当てることができ、限られた数のグループアドレスを用いて有効かつ柔軟にマルチキャスト通信を実現できる効果があ

る。

4 図面の簡単な説明

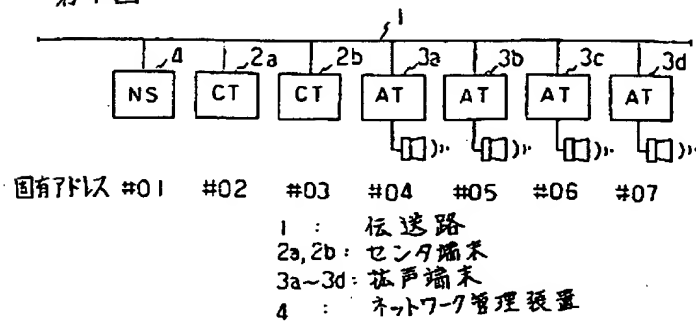
第1図はこの発明の一実施例を示すシステム構成図、第2図は従来例を示すシステム構成図である。

1は伝送路、2 a、2 bはセンタ端末、3 a～3 dは拡声端末、4はネットワーク管理装置である。

なお、図中、同一符号は同一、又は相当部分を示す。

代理人 大 岩 増 雄 (ほか2名)

第1図



第2図

